



国立大学法人

宮城教育大学 附属図書館ニュース

ISSN 1348-1525

こもれび

KOMOREBI

MIYAGI UNIVERSITY OF
EDUCATION LIBRARY NEWS

No. **133**

2018.7.27 発行

特集

海外留学 at 図書館

CONTENTS

- 02 特集 海外留学 at 図書館
- 06 私と本
- 07 学生の読書室
- 08 子ムエの本棚 児童文芸誌『赤い鳥』と教科書
- 12 図書館インフォメーション



海外留学 at 図書館



2018年4月23日（月）から5月11日（金）まで、国際交流委員会留学生部会主催による「海外留学Week」を、附属図書館を会場に開催しました。

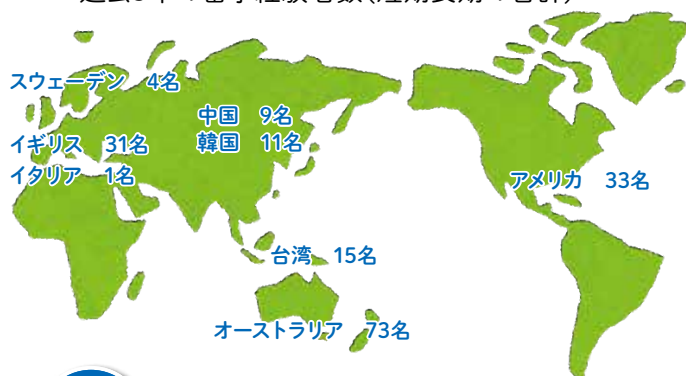
海外留学の経験のある学生や海外からの留学生、海外勤務を経験した職員が体験談を日替わりでプレゼンし、留学や国際交流の魅力を伝えました。

今回の特集では、これらのイベントの様子をダイジェストでお伝えします。

✈ 世界に羽ばたく宮教生 （過去3年の実績／短期長期の合計）

本学は、中国・韓国・オーストラリア・イタリア・イギリス・台湾・スウェーデン・アメリカの大学と国際交流協定を締結し、各大学に毎年数名の留学生を派遣しています。学生時代に海外で学ぶ体験は、人生にとって大きなプラスになり、留学を経験した学生は、一まわりも二まわりも成長し、帰国してきます。

過去3年の留学経験者数（短期長期の合計）



✈ 海外留学Week発表者の声

「海外留学Week」では、留学や海外勤務を経験した学生・職員の皆さんが、それぞれテーマごとに日替わりで発表しました。発表テーマとともに、皆さんのコメントを紹介し

質問

- ① あなたの留学のおすすめポイントは何ですか？
- ② 留学して得た発見・学びは何ですか？

4月24日（火）三ヶ国学生会議（中国・韓国）

初等教育教員養成課程
教育学コース
佐藤 竜晟



- ① 様々な人と活動するので初めての場所でも安心して動ける上に仲良くなれる。
- ② 外国と日本と異同を知ることができた。英語の重要性を感じた。

初等教育教員
養成課程
国語コース
村上 瑞季



- ① 一度に中国の人と韓国の人と仲良くなれる！ 英語を母語としない人と英語で会話する機会になる^^
- ② 英語のコミュニケーションの上で、英語が苦手でも、伝えたいという気持ちがあれば大丈夫だということが分かりました。そしてどの国の人も優しかったです♥

4月26日(水) 海外総合演習(オーストラリア)

中等教育教員養成課程
英語教育専攻
堀野 綾女



- 1 たくさんの自然の中で、オーストラリアの文化や歴史に存分に触れることができます。また、現地の学校を訪ね、日本語を教えたり授業を見学しオーストラリアの教育を学ぶことができます!
- 2 その土地の人々の生活や文化を知ったり、日本との違いを発見したりすることが出来ました。また、普段とは違う生活を送る中で、自分自身について新しい気づきがあったり、視野を広げて物事を考えることが出来ました。

5月2日(水) 文部科学省国際業務研修(アメリカ)

評価室
評価・監査係主任
藤原 忠和(職員)



- 1 異文化世界をただ単に知識としてとらえるのではなく、自分の五感を通して経験できます!
- 2 語学力だけでなく、グローバル時代の「知」を磨く機会になります!

5月7日(月) アメリカ長期留学の報告

初等教育教員養成課程
英語コミュニケーション
コース
丸山 広輝



- 1と2 留学を目指してる皆さん、留学を充実したものにするためにも、「自分の行きたい場所でしたいことをする!」が1番大事です!

5月7日(月) フィンランド長期留学の報告

初等教育教員養成課程
国語コース
古山 はるか



- 1 実際に小学校に入り、授業を見て、先生方ともお話できるため、教育の実際を知ることができた。自分も海外で教えることで日本について考える機会ができた。子どもたちと触れ合える!
- 2 言葉の違いはもちろん、文化の違いを知りそれを楽しみ、幸福度1位のフィンランドの生活を体験して納得した。教育は子どもたちのために、という目的は同じであり、また良い面、良くない面も見ることができた。そして国が異なっても子どもたちは素直でかわいい!

5月8日(火) 台南大学生使節団(台湾)

中等教育教員養成課程
美術教育専攻
笹木 花梨



- 1 青年会議所での活動では、市長や企業の役員の方々のお話を聞きすることができ、普段の生活ではできない貴重な体験をさせていただくことが多く勉強になりますし、とても刺激的ですよ!
- 2 『外を知って内を知る』。県外でも海外でも普段訪れない土地へ赴くと、自分の生まれ育った環境を見つめ直すことができます。仙台市、台南市、今まで知らなかった素敵な場所がたくさんあることに気づかされました。自分が直接体験したこと、感じたことは一生の財産になるということを学びました。

5月8日(火) ドーバー研修報告(アメリカ)

初等教育教員養成課程
国語コース
向中野 也美



- 1 岩沼市の中学生とアメリカの学校を体験できます!
- 2 異文化について学ぶことができ、現地の方のあたたかさを知れます!

5月8日(火) ドーバー研修報告(アメリカ)

初等教育教員養成課程
英語コミュニケーションコース
志子田 玲



① 世界と自分のつながりを身をもって実感することができます。また、海外に友達ができることで、遠く感じていた世界を身近に感じることができます。

② 海外の文化や異なる考えを持った人々との交流を通して、自分の価値観が覆されたり、自分自身を見つめ直すことで新たな自分を発見することができます。また慣れない環境で切磋琢磨することで、自分自信の成長や自信へとつながります。

5月9日(水) 国際交流と台湾訪問

初等教育教員養成課程
英語コミュニケーションコース
島津 智佳



① 台湾は人が優しく料理が美味しくて仙台からの直行便航空券も物価も安くて本当に最高です!!

② 大学生だからこそ長期休みに、日本では味わえない雰囲気の中でいろいろな経験をすることで、言葉にできない充実感、何か得るものがあると思います。

5月9日(水) 海外総合演習(台湾)

特別支援教育教員
養成課程
健康・運動障害教育コース
小山 千幸



① 新しい刺激が欲しい方、今の自分を変えたい方、絶対留学に行った方がいいと思います!

② 自分の無力さと同時に、今後の努力次第で自分の可能性は無限に広がると感じました!

特別支援教育教員
養成課程
健康・運動障害教育コース
赤間 彩和



① ただ旅行に行くだけでは深く関われない現地の大学生と仲良くなれる!現地の大学生おすすめの食べ物や場所などを体験できる!

②「世界は広い…」と、とても感じました。「日本語をあんなにすらすら話せる同年代がいるなんて!」と衝撃を受け、自分も何か極められるように頑張ろう!という刺激になりました。

5月11日(金) アメリカ・デラウェア州立大学の長期留学報告

初等教育教員養成課程
教育学コース
戸村 彩苗



① アメリカの大学生活を謳歌できる! 多様な国の友だちができる! 日本人がいない環境で成長できる!

② 飛び込んでしまえば必死になってやる、トライする前から消極的にならない大切さ。多種多様であることのきっかけさと面白さ。言語よりも何よりも大切なのは愛嬌!!

5月11日(金) オーストラリア・CQユニバーシティの長期留学報告

初等教育教員養成課程
英語コミュニケーションコース
酒井 若奈



① オーストラリアの気候と環境が最高です。ビーチやアウトドアアクティビティが楽しめます!

② 間違えても大丈夫なので、会話をすることが大事だと分かりました。大学の授業では不安になったら自分から聞くことが大事です!



海外留学する前に読みたい本！

附属図書館は海外留学に役立つ本を揃えています。これから海外留学に赴く人、海外留学を検討している人、海外留学に関心を持ちはじめた人、まずは図書館で海外留学の本を手にとってみよう！

海外留学前に歴史を知ろう！

出口治明

『仕事に効く教養としての「世界史」』

祥伝社 2014年2月

この本はタイトルにあるとおり世界史の本ですが、著者の豊富な読書量と海外経験が土台にある記述内容は、自然と読者の他の文化圏に対する興味を掻き立ててくれます。それゆえ、この本を読めば留学への意欲も高まる……というのは少々強引な理屈ですが、留学とは古代から現代まで連綿と続く異文化間の交流に自分も参画するということなのだ、という認識が生じるかもしれません。

「人間はワインと同じく、生まれ育った地域の気候や歴史の産物なんだ。」

序文に紹介されている元米国国防長官ヘンリー・キッシンジャーの言葉は、現代グローバル社会でますます重みを増してきていると思います。それぞれの文化圏の持つ固有の風土は、テクノロジーが発展した現代でも決してデジタルデータには還元できず、自分の足でその地に赴いて、五感でもってとらえるしかありません。本書があなたの世界を広げるきっかけとなることを願っております。



島崎晋

『地図&図解 なるほど! 古事記 日本書紀』

廣済堂出版 2007年9月

国の成り立ちは様々です。例えばアメリカ合衆国は、1776年の独立宣言によって誕生しました。1960年代は「アフリカの年」と呼ばれ、たくさんのアフリカ諸国が独立しました。そして90年代には旧ソ連の崩壊によっても多くの国々が誕生しました。

さて、皆さんは日本の成り立ちについて海外の人々に説明出来ますか？ もちろん諸説ありますが、そのうちの一つがいわゆる「神話」です。その日本神話の原点である『古事記』『日本書紀』が、図解入りで分かりやすくまとまっているのが本書です。留学や国際交流を行うにあたり、まずは日本のことについて勉強してみませんか？



海外留学・海外生活の実際を知ろう！

アルク留学研究会

『はじめての留学スーパーガイド』

アルク 2009年4月

実はいろいろな種類がある留学。必要な試験や書類など、はじめての留学準備に欠かせない情報が満載！ 留学の動機を明確にすることや留学のメリットとデメリットを理解することなど、自分自身を見つめるきっかけになるコーナーも。



齋藤志緒理

『海外生活の達人たち』

―世界40か国の人と暮らし―

国書刊行会 2012年7月

「真のグローバル人材」とは、「どこでも・誰とでも・うまくやれる人材」です。海外生活で異文化に触れ、苦労しながら自分なりの答えを見つけた人たちのお話はどれも大変おもしろく、自分も挑戦したくなります。



中川瑛

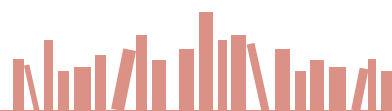
『最高のキャリアの描き方―トビタテ！』

留学JAPAN生と物語理論』

中央経済社 2017年5月

自分の経験や考え方を人生の「物語」として整理し、そこから将来のキャリアを紡いでいこう！ 文科省の留学奨学金プロジェクト「トビタテ！留学JAPAN」生の物語と、世界に目を向けたからこそ見えてきたものの中に、そのヒントが見つかるはず。





石牟礼道子『苦海浄土』と不知火海

社会科教育講座 准教授

山内 明美

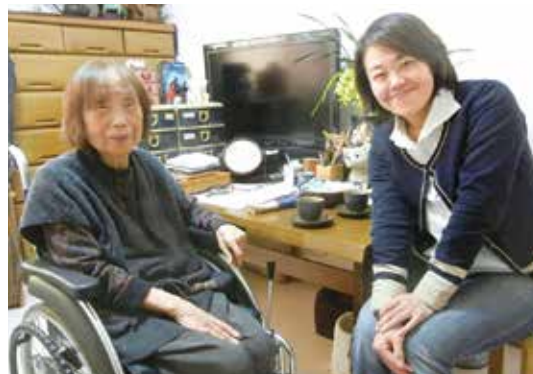
東日本大震災のあと、私ははじめて熊本県水俣を訪れました。不知火海の淵に立つと、向こう側に天草半島が見えます。磯では、いきものたちの生きる声が、ミシミシと聴こえています。女性が、カゴいっぱいにあおさを採っていました。そこで、ああ石牟礼道子さんはこの豊かな海で育ったのだなと思いました。

3部作『苦海浄土』は、石牟礼さんが40年かけて執筆した、不知火海をめぐる物語です。石牟礼さんは、不知火海の美しい世界とその行く末について多くの本を書き残しました。有機水銀で汚染された故郷を案じ、水俣病患者の方々と一緒にものを考え続け、今年2月に世界

されました。石牟礼さんの世界には、彼女が子どものころに感じた不知火海の無数のいきものたちとの交流の記憶が色濃く反映されています。311以降、石牟礼さんの言葉が重く刺さるようになりました。私にとって、ほんとうに大切な一冊です。



石牟礼道子
『苦海浄土一わが水俣病』
講談社文庫、2004年7月



石牟礼道子さんと山内先生

絵本が大好き

幼児教育講座 准教授

飯島 典子

私の研究室の入り口には娘と息子が大好きだった絵本や私のお気に入りの絵本が並んでいます。子供がまだ保育園に通っていた頃、日中一緒にいられない時間を埋めるように毎晩布団の中で絵本の読み聞かせをしていました。「三びきのやぎのガラガラどん」では私の言葉に「わあ〜どうしよう」と毎回、同じ場面で、同じように声をあげます。「てぶくろ」はお遊戯会で演技もしたので、子供も一緒になって台詞を言います。そして、娘と息子が一番のお気に入り「かおかおどんなかお」では、「笑った顔」「泣いた顔」といろいろな顔を一緒につくってはにらめっこをして笑っていました。今でも絵本を見る度に寝転がって読んだ夜のことが楽しい気持ちと一緒に蘇ってきます。きっと、それは子供も同じです。そん

な温かいこころの繋がりをつくってくれた絵本が大好きです。



柳原良平
『かおかおどんなかお』
こぐま社、1988年1月

第27回

My Favorite Books

学生の読書室



——豊かな発想力がいっぱい詰まった一冊！

『あるかしら書店』

ヨシタケシンスケ、ポプラ社、2017年6月

中等教育教員養成課程
家庭科教育専攻4年

秋葉 成美

「あるかしら書店」は「本にまつわる本」の専門店。この本屋さんでは、「あったらいいな」という本や夢いっぱいのグッズが、次から次へと飛び出します。月明かりの下でしか読めない「月光本」、読書に付き合ってくれる「読書サポートロボ」、ふたつの本を合わせて初めて読むことができる「2人で読む本」などなど……。大人気の絵本作家ヨシタケシンスケさんの最新作で、豊かな発想力がいっぱい詰まった一冊です。

かわいいイラストに癒されます。想像力や夢がふくらんで、なかなか本を読む時間がない、あまり本を読まない人でも気軽に手に取れる本です。絵本ではありません。大人でもハマるヨシタケシンスケさんの世界に惹き込まれること間違いなしです！



——近代野球を変えた男を描く傑作ノンフィクション！

『マネー・ボール 完全版』

マイルス・ルイス、ハヤカワ文庫、2013年4月

初等教育教員養成課程
英語コミュニケーションコース4年

丸山 広輝

アメリカ、大リーグ有数の貧乏球団であるオークランド・アスレチックス。このカネの不公平さに打ち克つため、彼は当時の常識では考えられないアプローチを野球にもたらし、球団を勝てるチームへと変えた。かつては、「球界の変わり者」と揶揄されていたGM、ビリー・ビーン。今では近代野球を変えた人物として知られている。

変わり者はどんな分野であってもはじめのうちは受け入れられないもの。それでも、確固たる信念をもって取り組み、きつと皆は理解してくれるということを教えてくれる実話です。

野球好きはもちろん、統計、経済、心理学など野球とはまったく結びつかないようなことに興味がある人でも、楽しめる一冊となっているので、ぜひ図書館で手に取ってみてください。



原稿大募集

『こもれび：宮城教育大学附属図書館ニュース』は皆さんの投稿で成り立っています。特に「学生の読書室」は、学生の皆さんにお薦めの本を紹介してもらうコーナーです。読後の感想や想いをこの場で表現してみましょう。
下記の必要事項を記入の上、Eメールに文書を添付してお送りください。いつでも原稿募集中。ご投稿お待ちしております。

必要事項

- ☒ コース・専攻、学年、お名前、連絡先
- ☒ 紹介したい本のタイトルとその著者名、出版社、ISBN
- ☒ 紹介文(400字程度)

提出方法

- ☒ 次のメールアドレスあてに提出してください。
toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

注意事項

- ☒ こもれび次号は3月発行です。 ☒ 原稿は、こもれび編集委員会で選定の上、掲載します。
- ☒ 採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。



子ムエの本棚は、児童書に関する話題をお届けするコーナーです。今回は、今年創刊100年を迎えた児童文芸誌『赤い鳥』に焦点を当てます。子どものための良い読み物とは何か、考える手掛かりとなれば幸いです。

児童文芸誌『赤い鳥』と教科書

執筆・編集 国語教育講座教授・附属図書館長 中地文

『赤い鳥』は、1918(大正7)年7月に鈴木三重吉によって創刊され、途中約1年半の休止期間を挟みながらも1936(昭和11)年10月まで刊行された月刊の児童文芸誌です。創刊100年を記念して、本学附属図書館では、毎夏恒例の教科書展のテーマを今年は『『赤い鳥』と教科書』としました。この展示(2018年7月10日～8月10日、附属図書館1F展示ホール)は、『赤い鳥』の功績を確認するとともに、時代の流れにそって教科書とのかかわりを紹介し、その特徴と意味を考えるものです。ここでは展示の要点をまとめます。

1 『赤い鳥』の創刊とその背景

『赤い鳥』が創刊された大正中期は、日本が経済的に発展し、東京では文化的な生活を求める新興住宅地の住民が増えていった時代です。文化の享受者・文化的商品の消費者として、女性や子どもの存在感が高まっていました。また、民主主義をはじめ、海外から流入した新しい思想が社会に浸透していった時期でもあり、教育の分野では児童中心主義思想が広まってきていました。文学界では、西欧のロマン主義文学の影響のもと、明治末頃から子どもの感性や心情に芸術的価値を見出す作品が生まれてきています。小川未明は、1910(明治43)年に刊行した『おとぎばなし集 赤い船』の序文に「子供の胸に宿れる自然の真情は、等しく偉大なる人生の響き」と記しました。夏目漱石門下の作家・鈴木三重吉(1882～1936)による『赤い鳥』の創刊は、まさにこうした時代状況の中に位置づけられるものですが、三重吉が童話に関する仕事を始めた動機とは何だったのでしょうか。

三重吉自身は、1927(昭和2)年に発表した「私の作篇等について」の中で、「長女」が生まれた「大正五年六月」に「子供の読みものをも漁って見た」ところ、「そのことごとくが実に乱暴で下等なのにおどろき呆れ」、「『湖水の女』外三篇の

童話をかいたのがそもそも私が童話にたずさわる、最初の偶然の動機」と述べています。しかし、この説明は、三重吉の書簡等を材料とした研究によって、事実との違いが指摘されてきました。

とはいえ、三重吉が子どもの読み物の質の低さに対する問題意識を持っていたことは間違いないと思われます。1914(大正3)年8月に発表した文章「悪文教科書」で、三重吉は当時の補習読本の文章を「拙劣」と批判し、次のように記しているからです。

教科書の文章は直ちに子女そのものの文章になるのだから、ずいぶん重大なものである。私は国定教科書もこれから調べて見るつもりである。お伽話でも話し方の下卑た、あばずれたのが多い。世間の父母が存外平気なのに愕かれる。

「世間に流行している子供の読物」を「下劣」と語る『赤い鳥』の「標榜語」につながる考えがここにはみられます。こうしてみると、『赤い鳥』の創刊も含めて三重吉の童話の仕事は、当時の「教科書」「お伽話」の「文章」に対する不満から、子どものための理想の読み物を作ろう、子どもに良い文章を提供しようとする試みだった、と捉えることができるでしょう。

2 『赤い鳥』の成果と影響

では、実際に『赤い鳥』はどのような成果をあげたのでしょうか。

現在、『赤い鳥』が日本近代文学・児童文学の分野で重視されているのは、主に次のような理由によります。

- 当時の文壇で活躍していた一流の小説家・詩人の協力を得て、「芸術として真価ある」童話・童謡を提供し、児童文学を芸術の位置にまで高めた。
- 芥川龍之介「蜘蛛の糸」「杜子春」や有島武郎「一房の葡萄」、新美南吉「ごん狐」など、日本児童文学の古典的名作を生み出した。
- 童話作家坪田譲治や新美南吉、童謡詩人と田準一や巽聖歌などを育て、児童文学の進展に貢献した。
- 「子供の純性を保全開発するため」のものとして童話・童謡をとらえ、子どもの純真な心としての「童心」に価値を見出す「童心文学」の展開を牽引した。
- 児童雑誌・児童書の出版界に影響を及ぼし、数々の類似雑誌・童話集などが刊行された結果、「童心文学」の隆盛期が到来し、小川未明らが活躍することとなった。宮沢賢治も、その影響下で童話創作を開始した。

また、『赤い鳥』は教育界においても重要な雑誌とみなされています。その主な理由は以下のとおりです。

- 子どもの綴方、児童自由詩、自由画の募集を行い、入選作や選評を誌面に掲載。綴方教育や子どもの表現教育に影響を及ぼした。
- 子どもに芸術的な良い読み物を与える必要があるという認識を広め、その結果、国語副読本が隆盛、各地の学校で使用された。
- 『赤い鳥』掲載作品は、一部は戦前から、また多くは戦後、国語教科書や音楽教科書に採録され、教材として活用された。

さらに、『赤い鳥』は、児童文化の歴史においても、大きな役割を果たしました。

- 子どもに良い文化を、という発想は、児童文化の概念の確立・流布に寄与した。
- 童話・童謡・童画等の児童文化財を生み出しただけでなく、童謡会・音楽会・展覧会の開催、児童劇の上演などという形で子どもに様々な文化を提供。児童文化の発展に貢献した。
- 学校現場で、あるいは家庭で、子どもの創造活動の展開を促した。
- 『赤い鳥』やその類似雑誌に刺激を受けた青年たちの児童文化活動が各地で展開。今日の児童文化活動の基盤が作られた。

その他、『赤い鳥』は、音楽の面で、美術の面で、あるいは子どもとメディアとのかかわりの面で、その意義が語られてきています。

今年、全国各地で開催されている創刊100年記念の展示やイベントの目的は、以上のような『赤い鳥』の成果・影響を今一度見つめ直し、更なる意義を発見することにある、といつてよいでしょう。



『赤い鳥』創刊号、
1918(大正7)年7月
[日本近代文学館刊行・複製版より]

**『赤い鳥』創刊100周年を記念し、
展示会とトークイベントを開催いたします!**

平成30年度 宮城教育大学附属図書館 教科書展

『赤い鳥』と教科書 7月10日(火)～8月10日(金)

トークイベント

『赤い鳥』と教育・児童文化

8月10日(金) 13時30分～15時30分

・講師: 加藤理氏(文教大学教授)

大木葉子氏(仙台白百合女子大学講師)

中地文(本学教授・図書館長)



3 「赤い鳥の本」「赤い鳥叢書」

『赤い鳥』の成果の一つに、『赤い鳥』に作品を発表した作家の童話や童謡、児童向けの戯曲(『赤い鳥』掲載作品以外も含む)を作家ごとにまとめた叢書「赤い鳥の本」(1920～1927年刊、1924年以降「赤い鳥叢書」と改称)があります。以下、本学の学生が紹介します。



紹介文を執筆した学生の皆さん

久保田万太郎『ふくろと子供』(1921年)を読んで

初等教育教員養成課程

子ども文化コース3年 高橋 ひかり

私が読んだ『ふくろと子供』は、小説家・劇作家・俳人といった様々な顔を持つ久保田万太郎による少年少女劇集です。この本には、「王様と道化」「グリック物語」など、実際に学校劇の脚本として取り上げられることもある少年少女劇が全6編収録されています。どの作品にも西洋的な名を持つ現実離れた登場人物が描かれていて、私にとって新鮮なものばかりでした。また、久保田が子どもに抱いている思いやメッセージも感じられたような気がします。

【複製赤い鳥の本 第5冊、1969年 ほるぷ出版】

菊池寛『三人兄弟』(1921年)について

初等教育教員養成課程

子ども文化コース3年 長谷川 桃奈

童話集『三人兄弟』は、「父帰る」などで有名な作家菊池寛の第一童話集です。菊池は、『赤い鳥』に「三人兄弟」の原作となる「一郎次二郎次三郎次」(1919年4月)を発表したほか、本童話集に収録されている「納豆合戦」(1919年9月)、「宮本武蔵と勇少年」(1920年3月)なども含め全11篇の童話を寄稿していました。表題作の「三人兄弟」を含め本童話集の作品は、他作者の『赤い鳥』掲載作品とは異なり、単純な面白さを追求したいいわゆる大衆文学らしさを強く感じた作品でした。

【複製赤い鳥の本 第4冊、1969年 ほるぷ出版】

小川未明『小さな草と太陽』(1922年)を読んで

初等教育教員養成課程

子ども文化コース3年 徳差 桃葉

この童話集の著者は「赤い蠟燭と人魚」で有名な児童文学作家、小川未明です。未明は、『赤い鳥』4巻1号(1920年1月)に発表した「酔っぱらい星」をはじめ、全42作の童話を同誌に寄稿しました。この本には、未明が『赤い鳥』に寄稿した「酔っぱらい星」「罌粟の圃」の2編の他に15編を加えた全17編の童話が収められています。全体を読んだ感想としては、勧善懲悪が根底となる童話が多いと感じました。この童話集の中では、「神は弱い者を助けた」「糸のない胡弓」などが挙げられます。

【複製赤い鳥の本 第12冊、1969年 ほるぷ出版】

久保田万太郎『おもちゃの裁判』(1925年)について

初等教育教員養成課程

子ども文化コース3年 鈴木 美桜

『おもちゃの裁判』は、赤い鳥社から出版された久保田万太郎の二冊目の少年少女劇集です。久保田は、『赤い鳥』に当初童話を発表していましたが、「プロオニイ」(1920年)以降童話劇を多く書いています。この本には、『赤い鳥』に掲載された「春のおとずれ」(1921年)、「ミルクメイドの踊」(1922年)、「豆の煮える間」(1924年)に3編を加えた、全6編の少年少女劇が収められました。西洋の雰囲気とファンタジー性、戯曲ならではの会話のテンポの良さが魅力的な作品です。

【複製赤い鳥の本 第14冊、1969年 ほるぷ出版】

豊島与志雄『夢の卵』(1927年)を読んで

初等教育教員養成課程

子ども文化コース3年 岡崎 真優

『夢の卵』は、『レ・ミゼラブル』の翻訳家としても知られる豊島与志雄による童話集のひとつです。豊島与志雄は、『赤い鳥』には、第3巻4号、5号(1919年10月、11月)に「お月様の歌」を発表し、その後も寄稿を重ね、全18編もの童話が掲載されました。本書には、『赤い鳥』に寄稿した童話の中の10編に加え、表題にもなっている「夢の卵」などの4編が収録されています。自然を背景として、人と動物、または空想上の生き物との暖かな交流が描かれた、どこか神秘的で優しい雰囲気を感じられる作品が多いと思いました。

【複製赤い鳥の本 第15冊、1969年 ほるぷ出版】



4 『赤い鳥』と教科書

『赤い鳥』掲載作品の教科書への採録は、芥川龍之介「蜘蛛の糸」など一部の作品については大正期から行われていました。しかし、多くの作品の教科書教材化が進むのは戦後となります。

1940年代末から2018年現在までの検定国語教科書を調べてみると、小学校で27作品、中学校で20作品、『赤い鳥』掲載作品の教材化が確認できます。時期に関しては、小・中学校ともに1950年代・60年代が中心で、80年代・90年代には、小学校で「ごん狐」（教材名「ごんぎつね」）が定番教材化する一方、ほとんどの作品が消えました。しかし、2000

年代以降、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」や北原白秋の童謡が復活しています。伝統的な言語文化の学習が重視されるようになってきたからでしょう。

現在、小学校の国語教科書は5社5種類のものが刊行されていますが、そのすべてに新美南吉の「ごんぎつね」が掲載されています。これは、1932（昭和7）年1月に『赤い鳥』に掲載された「ごん狐」を、漢字を平仮名にするなど若干手を入れているものの、ほぼそのまま教材としたものです。最後に、教科書の「ごんぎつね」を現代の子どもたちがどのように読んでいるのか、本学附属小学校からの寄稿を掲載します。

心動かされる物語「ごんぎつね」

宮城教育大学附属小学校 教頭 堀之内 優樹

「ごんぎつね」。子供が登場人物に心を寄せながら、一人の読者として読み味わい、豊かに物語を紡いでいくことができる魅力的な作品である。

兵十と加助が話をしているのをごんがこっそりとつけていく場面。子供たちは、ごんの「かげぼうしをふみふみ」行く様子、「引き合わないなあ」と言いつつも健気に償いを続ける様子などから、ごんが抱く思いと未だ「いたずらぎつね」として認識している兵十の気持ちとにずれが生じていることに気付く。「まるで片思いをしているようだ」「自分のせいで、同じ一人ぼっちにしてしまった。だから特別な思いを持っているんだ」「いたずらじゃない関わりをしている」などと口々に読みを表していく。

この読みが、最後の場面を非常に印象深いものにする。子供は「道ですれ違ったような感じだ」「でも、また手の届かないところにいってしまう」「一瞬の心の触れ合いだった」等と二人の心の距離を話す。

健気なごんの姿が、今も子供の心を揺さ振っているのである。

「ごんぎつね」の魅力

宮城教育大学附属小学校 教諭 今野 ゆき

子供たちは「ごんぎつね」が大好きである。それは、いたずら好きで寂しがり屋でなかなか素直になれない、ひとりぼっちの小ぎつねのごん（子どもたちは、「小」ぎつねのごんを、赤ちゃんではないけれど、大人ではない、「おさなざ」を持った小さいぎつねだという）の姿に共感する部分が多いからかもしれない。「ごんぎつね」の物語の時代は、江戸時代から明治時代。子供たちは「土間」や「おはぐろ」という言葉を知らず、具体的に説明が必要な場面がある。しかし、そのような説明が必要でも、子供たちは、ごんの気持ちによりそって物語を読み進めていく。

兵十と加助が、ごんの行いを「神様のしわざ」だと話している場面では、ごんの「こいつはつまらない。」「おれは、引き合わないなあ。」という言葉から、子供たちは「こんなに兵十のために、やっているのに残念。」「なんで分かってくれないのだろう。」とごんに同化して読みを進める。また、それでも栗を持っていくいじらしいごんの行動に、ごんへの思いも深めていく。

幼いごん。いじらしいごん。一途なごん。そんな「ごんぎつね」の姿に、子供たちは、時代を超えて魅了されているのかもしれない。





図書館からのお知らせ!

図書館 Library Information インフォメーション

「案内ロボット」の実演を開催しました

4月19日、技術教育講座・門田和雄先生の研究室との共催で、スパイラル・セッション「案内ロボット」の実演を開催しました。ロボットの实演をしてくれたのは、ロボットの開発・制作者である教職大学院1年・大林要介さんと技術教育専攻4年・長嶋春樹さん。30名を超える参加者が「みやっきょ先生」を形取ったロボットとの「会話」と「コミュニケーション」を楽しみました。このイベントをきっかけにさらにロボットの改善を図るそうです。



案内ロボットの開発・制作者 大林要介さん(左)と長嶋春樹さん



「みやっきょ先生」に話しかける中地文館長

「科学データを調べる・読む —「理科年表プレミアム」の使い方」 を開催しました

6月5日、理科教育講座との共催で、スパイラル・セッション「科学データを調べる・読む—「理科年表プレミアム」の使い方」を開催しました。講師は、高田淑子先生。「理科年表プレミアム」は、様々な科学データを調べるための代表的なデータベースです。自然科学分野はもちろんのこと、社会科学・人文科学分野、さらに日常生活の中でも活用できます。これを機会にぜひご利用ください!



理科年表プレミアムは学内から利用可能
<http://www.rikanenpyo.jp/member/>

編集後記

2018年は児童文芸誌『赤い鳥』が創刊され、ちょうど100年。全国の文学館や図書館で記念展示会が開催されています。本誌「こもれび」でも教育大学らしい観点から『赤い鳥』を特集しました。

宮城教育大学附属図書館の活動・運営、および本誌に関するご意見・ご要望がありましたら、図書館カウンターまたは下記の連絡先までお寄せください。



宮城教育大学附属図書館

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149

TEL:022-214-3350

E-mail:toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

こもれび No.133

【編集発行】
宮城教育大学附属図書館
運営委員会

附属図書館オフィシャルサイト

<http://library.miyakyo-u.ac.jp/>



このパンフレットは環境に
配慮した「水なし印刷」により
印刷しております。

環境にやさしい植物油インク
「VEGETABLE OIL INK」で
印刷しております。